

金泉中学校 2023 社会科 歴史（1年） 年間指導計画及び評価計画表

月	時限	章	節		学習内容・学習活動	①＝知識・技能	①評価方法	②＝思考・判断・表現	②評価方法	③＝主体的に学習に取り組む態度	③評価方法
5	5	第1章 歴史へのとらえ方	1節 歴史をとらえる見方・考え方	1 時期や年代の表し方 2 歴史の流れのとらえ方 3 時代の特徴のとらえ方	・ 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。 ・ 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。 ・ 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。 ・ 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現させる。 ・ 私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ 年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解している。（知技） ○ 資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。 ○ 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	●単元末小テスト ●定期テスト	○ 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 ○ 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	○ 歴史の表現方法や歴史的な見方・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○ 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。（態度）	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
			2節 身近な地域の歴史	1 テーマを決めて調査・考察しよう 2 まとめと発表をしよう	・ 具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 ・ 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・ 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付ける。	○ 様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめている。（知技）	●単元末小テスト ●定期テスト	○ 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。（思判表）	●PFテスト ●定期テスト	○ 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。（態度）	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
6	5	第2章 古代までの日本	1節 世界の古代文明と宗教のおこり	1 人類の出現と進化 2 古代文明のおこりと発展 3 中国文明の発展 4 ギリシャ・ローマ文明 5 宗教のおこりと三大宗教	・ 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。 ・ 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ・ 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。	○ 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	○ 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
			2節 日本列島の誕生と大陸との交流	1 旧石器時代と縄文時代の暮らし 2 弥生時代の暮らしと邪馬台国 3 大王の時代	日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 ・ 農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
10	8	第3章 中世の日本	3節 古代国家の歩みと東アジア世界	1 聖徳太子の政治改革 2 東アジアの緊張と律令国家への歩み 3 律令国家の成立と平城京 4 奈良時代の人々の暮らし 5 天平文化 6 平安京と律令国家の変化 7 摂関政治の時代 8 国風文化	律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。 ・ 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が来え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解させる。 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
11	5	第3章 中世の日本	1節 武士の政権の成立	1 武士の成長 2 院政から武士の政権へ 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士と民衆の生活 5 鎌倉時代の文化と宗教	鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 中世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ 鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ○ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	○ 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	○ 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
2			2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	1 モンゴル帝国とユーラシア世界 2 モンゴルの襲来 3 南北朝の動乱と室町幕府 4 東アジアとの交流 5 産業の発達と民衆の生活 6 応仁の乱と戦国大名 7 室町文化とその広がり	元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解させる。 ・ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解させる。 ・ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ 元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○ 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ・ 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
3	7	第4章 近世の日本	第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	1 中世ヨーロッパとイスラム世界 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパ世界の拡大 4 ヨーロッパ人との出会い 5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 6 兵農分離と秀吉の対外政策 7 桃山文化	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。 ・ 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・ 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。 ・ 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 近世の日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○ ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどとして、世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	○ 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度

金泉中学校 2023 社会科 歴史(2年) 年間指導計画及び評価計画表

月	時限	章	節	学習内容・学習活動	①＝知識・技能	①評価方法	②＝思考・判断・表現	②評価方法	③＝主体的に学習に取り組む態度	③評価方法
6	5	第4章	第2節 江戸幕府の成立と対外政策	1 江戸幕府の成立と支配の仕組み 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国下の対外関係 5 琉球王国やアイヌ民族との関係	・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。 ・統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。	○統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府の成立と対外関係について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	●江戸幕府の成立と対外関係について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
7	7	近世の日本	3節 産業の発達と幕府政治の動き	1 農業や諸産業の発展 2 都市の繁栄と交通路の整備 3 幕府政治の安定と元禄文化 4 享保の改革と社会の変化 5 田沼意次の政治と寛政の改革 6 新しい学問と化政文化 7 外国船の出現と天保の改革	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。 ・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	○産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	●産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
11	5	第5章 開国と近代日本の歩み	1節 欧米における近代化の進展	1 イギリスとアメリカの革命 2 フランス革命 3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり 4 ロシアの拡大とアメリカの発展 5 産業革命と資本主義	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 ・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
12	4		2節 欧米の進出と日本の開国	1 欧米のアジア侵略 2 開国と不平等条約 3 開国後の政治と経済 4 江戸幕府の滅亡	・アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	○工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	○アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
1	8		3節 明治維新	1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 領土をめぐる問題の背景 7 自由民権運動の高まり 8 立憲制国家の成立 基礎・基本のまとめ 近代(前半)の学習をふり返ろう	・富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。 ・明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。	○明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	●明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
2	8		4節 日清・日露戦争と近代産業	1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	・日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解させる。 我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。 議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	○日清・日露戦争、条約改正などを基に、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	○議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度

金泉中学校 2023 社会科 歴史(3年) 年間指導計画及び評価計画表

月	時限	章	節		学習内容・学習活動	①＝知識・技能	①評価方法	②＝思考・判断・表現	②評価方法	③＝主体的に学習に取り組む態度	③評価方法	
4		2		第6章 二度の世界大戦と日本	・ 年表にある事柄や人物、文化財のイラストから、小学校で学習した内容を振り返る。 ・ 写真や年表などの資料から、この時代のイメージを持つ。		●単元末小テスト ●定期テスト	資料の読み解きや比較から、この時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	日本はどのようにして戦争に突入していったのかという探究課題に対して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度	
			4	1節 第一次世界大戦と日本	1 第一次世界大戦 2 ロシア革命 3 国際協調の高まり 4 アジアの民族運動	・ 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ・ 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度
				3	第6章 二度の世界大戦と日本	2節 大正デモクラシーの時代 1 大正デモクラシーと政党内閣の成立 2 広がる社会運動と男子普通選挙の実現 3 新しい文化と生活	我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解させる。世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5	5	3節 世界恐慌と日本の中国侵略	1 世界恐慌とブロック経済 2 欧米の情勢とファシズム 3 昭和恐慌と政党内閣の危機 4 満州事変と軍部の台頭 5 日中戦争と戦時体制		経済的世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。。一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	経済的世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度	
		4節 第二次世界大戦と日本	1 第二次世界大戦の始まり 2 太平洋戦争の開始 3 戦時下の人々 4 戦争の終結 基礎・基本のまとめ 近代（後半）の学習をふり返ろう	経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。	●単元末小テスト ●定期テスト	戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度		
6		5	第7章 現代の日本と私たち	1節 戦後日本の出発	1 占領下の日本 2 民主化と日本国憲法	○ 我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ・ 我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・ 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	●単元末小テスト ●定期テスト	諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度	
				2節 冷戦と日本の発展	1 冷戦の開始と植民地の解放 2 独立の回復と55年体制 3 緊張緩和と日本外交 4 日本の高度経済成長 5 マスメディアと現代の文化	・ 冷戦、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ・ 高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ・ 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	●単元末小テスト ●定期テスト	諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度	
7		5		3節 新たな時代の日本と世界	1 冷戦後の国際社会 2 冷戦後の日本 3 持続可能な社会に向けて【もっと歴史】日本のエネルギーのこれまで【もっと歴史】震災の記憶を語りつく ■基礎・基本のまとめ 現代の学習をふり返ろう	・ 国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ・ 国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・ 日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。	●単元末小テスト ●定期テスト	国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	●PFテスト ●定期テスト	日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	●振り返り ●宿題提出 ●基礎的内容の達成度	